

情報処理論1a

# 1章「UNIXの基本操作とメール」

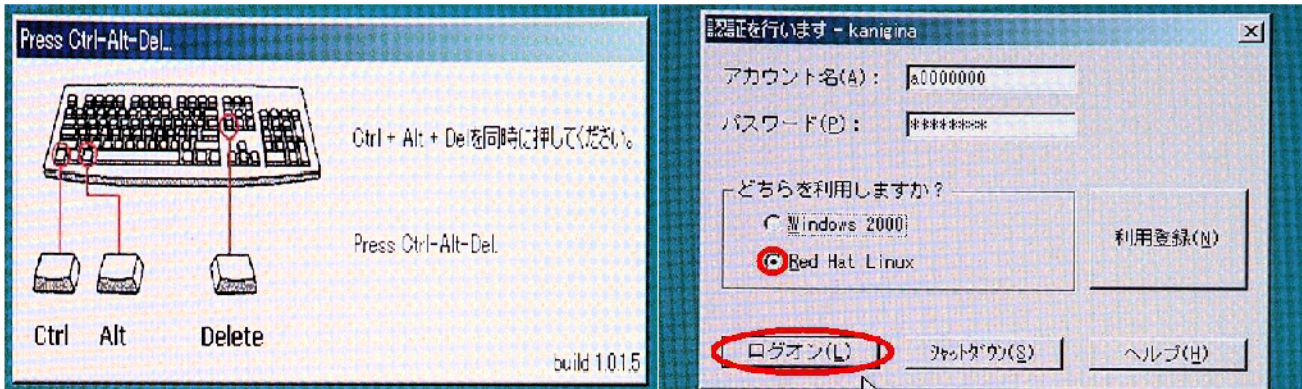
中島康彦

## §1. 1 電源の投入



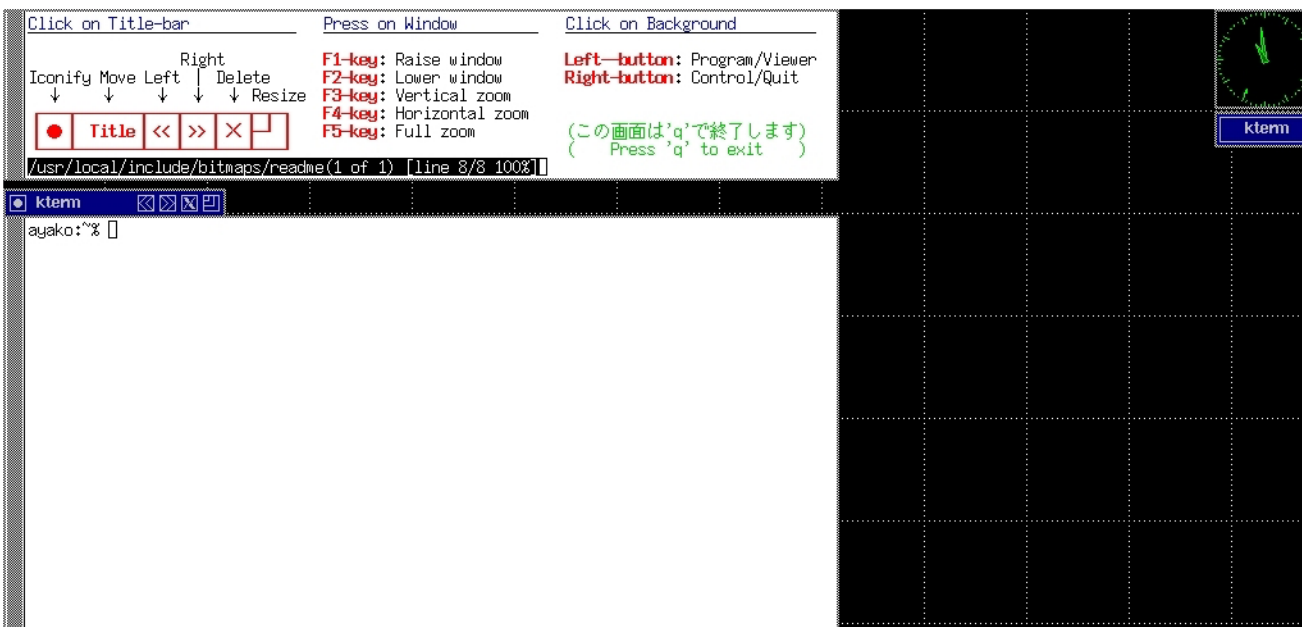
## §1.3 Xwindow

各自の利用コードおよびパスワードを使ってログイン



- ▶ 本来Windowsは不要だが、管理の都合上、Windows上で動作する仮想計算機を使っている。
- ▶ VMwareが起動するのを待つ。

## §1.3 Xwindow



- ▶ Xwindowが起動し、kterm(ターミナルウィンドウ)が開く。
- ▶ 組み込み用LINUXがそうであるように、本来GUIは不要。
- ▶ ktermの中にマウスカーソルを移動すると文字入力可能。
- ▶ exit と入力し、ktermを閉じる。

## §1.4 講義資料の表示

---

1. ktermを起動
2. % `mozilla http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~nakashim/`
3. 「表示」→「文字コード」→「日本語(自動判別)」を選択
4. 「情報処理論1a」の「1章 UNIXの基本操作とメール」を選択
5. 終了する時は、「ファイル」→「終了」

---

## §1.5 準備

---

UNIXを使い易くする設定(一度だけ実行)

1. 1章の演習に必要なファイル(data01)の上で右ドラッグし  
「リンクを名前を付けて保存」

2. 設定ファイルの初期化

% `cd` ⇒ ホームディレクトリに移動

% `tar xvf data01` ⇒ 初期化

% `ls -a` ⇒ ファイル一覧の表示

```
./      ../      .Xdefaults      .cshrc
.emacs20.el  .emacs-color.el  .twmrc
.emacs19.el  .emacs           Bin/
```

3. ktermを閉じる

% `exit`

---

## §1.6 基本的なコマンド

---

- ▶ **kterm** ⇒ 端末エミュレータ
- ▶ **tcsh** ⇒ シェル(kterm上で走行)
  - history** ⇒ 履歴の表示
  - !!** ⇒ 直前に実行したコマンドの再実行
  - !番号** ⇒ 履歴番号のコマンドの再実行
  - ↑↓** ⇒ 履歴にあるコマンドの選択
  - ←→** ⇒ カーソル移動
  - [Ctrl]+a** ⇒ 行頭へ移動
  - [Ctrl]+e** ⇒ 行末へ移動
  - [Ctrl]+k** ⇒ 行末まで削除
  - [Ctrl]+u** ⇒ 一行削除
  - [Ctrl]+l** ⇒ 画面消去
  - [Ctrl]+c** ⇒ コマンド中断
  - xx[Tab]** ⇒ xxで始まるコマンドの表示
  - exit** ⇒ tcshの終了
- ▶ **passwd** ⇒ 一般的なパスワード変更  
(メディアセンタではWEBを使う)

---

## §1.6 基本的なコマンド(続き)

---

- ▶ **clear** ⇒ 画面消去
  - ▶ **id** ⇒ 利用コードとグループの表示
  - ▶ **man** ⇒ マニュアルの表示
  - ▶ **less** ⇒ ページャ(man上で走行)
    - h** ⇒ lessのマニュアル表示
    - j ↓ [Enter]** ⇒ 1行進む
    - k ↑** ⇒ 1行戻る
    - f [Space]** ⇒ 1ページ進む
    - b** ⇒ 1ページ戻る
    - d** ⇒ 半ページ進む
    - u** ⇒ 半ページ戻る
    - /xxx** ⇒ xxxの前方検索
    - ?xxx** ⇒ xxxの後方検索
    - n** ⇒ 検索を繰り返す
    - N** ⇒ 逆方向へ検索を繰り返す
    - q** ⇒ lessの終了
-

## §1.7 ホームディレクトリ(個人用)

---

/home/vine

- ▶ 上限は50Mバイト(フロッピー約35枚分). 越えたら警告が出るので不要なファイルを削除すること.

- ▶ du ~

使用量をテキスト表示

```
4000 /home/vine/
```

↑この値を1000で割る(4000/1000→4Mバイト)

- ▶ xdu ~

ディレクトリ毎の使用量をグラフィカルに表示

---

## §1.7 ファイルの作成

---

muleを使ったファイル作成

1. ktermを起動
2. % **mule** **ファイル名** ⇒ mule起動

[Ctrl]+/ ⇒ Undo(複数回の操作を戻せる)

⇒ Redo(戻した操作を再実行)

[Ctrl]+gを1回押すと, UndoとRedoが切り替わる.

3. ファイルの保存とmuleの終了

[Ctrl]+x [Ctrl]+s ⇒ ファイルの保存

[Ctrl]+x [Ctrl]+c ⇒ muleの終了

---

## §1.8 muleにおける日本語入力

---

- 0. [Ctrl]+^ ⇒ 全角文字直接入力(↑↓←→で選択)
- 1. [Ctrl]+\ ⇒ 日本語入力のON/OFF
- 2. ローマ字入力 ⇒ 初回「ファイルを作りますか」と聞かれる.  
全てyと入力
- 3. [Space] ⇒ 漢字に変換
- 4. [Space], [Ctrl]+n, ↓ ⇒ 次の候補に進む  
[Ctrl]+p, ↑ ⇒ 前の候補に戻る
- 5. [Ctrl]+iと[Ctrl]+o ⇒ 文節区切りの変更
- 6. [Esc]s ⇒ 候補の表示(↑↓←→で選択)
- 7. [Enter] ⇒ 確定
- 8. [Ctrl]+g ⇒ 何度か押すと通常モードに戻る

[Esc]h ⇒ 全角ひらがな

[Esc]k ⇒ 全角カタカナ

ローマ字入力中にQを押すと、以後、全角英数字

ローマ字入力中にqを押すと、以後、半角英数字

[Esc]< ⇒ 英数字を半角化

[Esc]> ⇒ 英数字を全角化

---

## §1.9 メール

---

- 1. ktermを起動
- 2. % mozilla <http://webmail.mbox.media.kyoto-u.ac.jp/>
- 3. 直接漢字を入力する場合は、[Ctrl]+[変換]で漢字ON/OFF.  
mule上で作成した内容を「左ドラッグ」でコピーし、  
メール本文枠内で「中クリック」してもよい。
- 4. 以下、Windowsの場合と同じ。

## §1. 10 ログアウトおよびシャットダウン

---

レポートを出したら、以下の手順で終了する。

1. 開いているウィンドウを閉じる。
2. ウィンドウの無い場所で右ドラッグしLogoutに移動。  
Xwindowが終了する。
3. あとはWindows2000のシャットダウン方法と同じ。

---

## §1. 11 今日の出欠確認

---

本来はコマンドで簡単に送れるが、今はmozillaを使う。

以下のメールを送信すること。

宛先: nakashim@econ.kyoto-u.ac.jp

件名: unix1-学生番号

本文: 初めて悪戦苦闘した感想 と 氏名

どうです？ もう嫌になってきたでしょう？

苦勞して毎週レポートを出しても2単位しか出ないからね。

履修届けを出してから後悔しないように。

---

今日はここまで